

Press Release

2017年7月24日

先端技術研究センター、施設開所

この度、2017年1月にDMG森精機株式会社(以下、DMG MORI)内に設立した先端技術研究センター(以下、研究センター)の施設が完成し、7月24日に開所しました。

IoT、インダストリー4.0、人工知能ロボット、COP22による脱炭素、電気自動車(EV)、自動運転、フィンテック(ブロックチェーン)、シェアエコノミーと、“既に起きている未来”は、2020年以降の世界では社会や産業に当たり前のようになり、広く実装され、デジタル革命は新たなステージに到達することが予想されます。

研究センターは、上記の変革を主導する人材を集積し、DMG MORIがその時代に求められる顧客価値と社会的価値を創成し、顧客に提供する人材の育成の場として設立いたしました。この研究センターは、“企業内大学院”の創設も意味しています。

研究センターでは、機械学習のプログラミング、IoT、ネットワーク、クラウド、英語TOEIC900点のすべてが頭に入っている人間を育成します。個別の専門家を集めたチームとは次元が違う技術陣を創ります。DMG MORIの競争優位の基盤となると思います。

研究センターのセンター長には、(元)東京大学工学系研究科・技術経営戦略学専攻教授の松島克守先生(東京大学名誉教授)に就任頂き、東京大学・大学院の教育水準での研究指導により、先端技術の分野に卓越した高度専門技術社員を育成していただきます。

<先端技術研究センター概要>

- 所在地 : 東京都江東区潮見 2-3-23 (DMG 森精機株式会社 東京グローバルヘッドクォーター内)
設立 : 2017年1月1日
センター長 : 松島 克守 (東京大学名誉教授)
研究員 : 社内6名 (今後人材獲得により増強する)
技術アドバイザー : 蒲地 輝尚 氏 (元 NEC, ソニー株式会社)
連携研究機関 : 東京大学工学系研究科 システム創成学専攻 白山晋研究室



研究センター内部



研究生の様子